

講義名	日本語資格試験講座【留学生科目】				授業形態	
担当教員	尾崎 美千代	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限			
		単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング

主題と概要

「日本語能力試験N2」受験に向けて、試験の新しい傾向を推測しつつ実践的に練習問題を解いていく。語彙は練習問題で確認する。文法、聴解、読解問題は解説しながら行う。N2の試験合格を目指す。

到達目標

N2に合格できる能力（語彙・文法・聴解・読解）を養い、自分の日本語能力の弱点を克服していく。そして、N2の試験に合格できるようになる。

提出課題

特に課さない。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

中間試験（模擬試験実施）後、間違いが多かった問題に対して、再度、解説を行う。

評価の基準

期末試験（50％） 中間試験（30％） 出席状況（10％） 平常点（10％）

履修にあたっての注意・助言他

履修にあたって、指定したテキストを必ず購入すること（購入しない者は、受講を認めない）。特に文法に関しては、予備を前段とする。中間試験の日程に注意すること。出欠は毎回とる（5回以上欠席すると、単位を認めない）。20分以上の遅刻は、入室を認めるが欠席とする。

教科書

『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N2 文法』 佐々木仁子・松本紀子 著 アスク出版。			1200	9784872177299

参考図書

その他

導宣、配布する。
新しい『日本語能力試験』ガイドブック概要版と問題例集 N1.N2.N3編。国際交流基金・日本国際教育支援協会 著 凡人社

『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N2 語彙』 佐々木仁子・松本紀子 著 アスク出版

『日本語能力試験 試験問題と正解 N1・2』 国際交流基金・日本国際教育支援協会 著 凡人社

授業計画

1	ガイダンス及び「日本語能力試験N2」についての概要説明
2～6	N2試験対策（文字・語彙小テスト、文法説明、聴解・読解問題解説）
7	中間試験（文字・語彙・文法・読解）
8	中間試験（聴解）
9	中間試験返却と解説
10～11	N2試験対策（文字・語彙小テスト、文法説明、聴解・読解問題解説）
12～14	N1試験対策（文字・語彙小テスト、文法説明、聴解・読解問題解説）
15	総まとめとアンケート

授業形態（アクティブ・ラーニング）

☐ ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
☐ キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】毎回、当日学習する文法項目の例文を作成。（1時間）
【復習】習得した文法の練習問題及び課末実践問題を行う。（3時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生として、アカデミックな日本語を習得し、大学における研究及び実践に役立てる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

質疑応答の時間を必ず取って、できるだけ多くの例文を提供できるようにする。

実務経験の有無及び活用

--

備考

--